

精神看護学演習

科目到達目標: 精神障害に対する精神看護看護診断、看護計画の立案ができる。

科目責任者(所属教室): 吉岡 伸一(地域・精神看護学) 連絡先: 0859-38-6333、E-mail: shiyoshi@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/2(水)	3	112	薬物関連性精神障害の看護	吉岡 伸一	地域・精神看護学	薬物関連性精神障害の看護の概略について理解できる。	アルコール依存症、薬物依存症、断酒会、自助グループ、嫌酒薬
2	10/9(水)	3	112	ライフサイクルと精神保健	吉岡 伸一	地域・精神看護学	ライフサイクルを理解し、各ステージにおける心の健康について述べる事ができる。	ライフサイクル、エリクソン、ピアジェ、フロイト、心の発達と健康、知的障害、発達障害、自殺、死
3	10/9(水)	4	112	学校におけるメンタルヘルスの実践	吉岡 伸一	地域・精神看護学	学校におけるメンタルヘルスの対策と実践について理解する。	不登校、いじめ、養護教諭、疾病教育、特別支援学級・学校
4	10/23(水)	2	地域・精神看護学実習室(1)	精神看護のコミュニケーション実践	吉岡 伸一	地域・精神看護学	ロールプレイによるコミュニケーション法を学び、臨地実習で活かすことができる。	臨地実習、ロールプレイ、SST、関係性の構築、距離感
5	10/23(水)	3	地域・精神看護学実習室(1)	コミュニケーションの取り方	吉岡 伸一	地域・精神看護学	ロールプレイを通して、コミュニケーション法を習得し、患者・利用者との関係性を図り、情報収集が適切にできる。	面接技法、ロールプレイ、傾聴、共感、受容、非言語的コミュニケーション、SST、関係性
6	11/13(水)	3	112	精神科身体合併症の看護	矢田貝奈緒子(非常勤講師)	地域・精神看護学	精神科病棟入院患者の身体合併症に対するアセスメント力とチーム医療の連携について理解できる。	精神科身体合併症、アセスメント、ストレングス、チーム医療、身体拘束
7	11/20(水)	3	112	職場におけるメンタルヘルスの実践	吉岡 伸一	地域・精神看護学	職場におけるメンタルヘルスの対策と実践について理解する。	職場不適応、ライン、産業保健スタッフ、労働安全衛生法、いじめ、ハラスメント、復職
8	11/27(水)	3	112	精神疾患と身体合併症をもつ人の看護と急性期精神科看護	岩崎 茜(非常勤講師)	看護部(認定看護師)	精神疾患と身体合併症をもつ人の看護と急性期精神科看護の実践を理解できる。	精神疾患、身体合併症、急性期精神科看護、総合病院、リエゾン
9	12/4(水)	3	112	精神疾患を持つ人への看護の展開とかわり(幻覚・妄想と生活)	吉岡 伸一	地域・精神看護学	精神疾患を持つ人の事例について、特に精神症状と生活のつながりについてのアセスメントが理解できる。	精神看護における看護過程の展開、精神症状と生活への影響をとらえる視点
10	12/5(木)	3	112	統合失調症患者の看護	大森 眞澄(非常勤講師)	地域・精神看護学	統合失調症の看護を理解できる。	統合失調症の看護、ケアプラン、アセスメント
11	12/5(木)	4	112	気分障害患者の看護	大森 眞澄(非常勤講師)	地域・精神看護学	気分障害の看護を理解できる。	気分障害の看護、ケアプラン、アセスメント
12	12/11(水)	3	112	精神疾患をもつ人へのケアプランの実際	岩崎 茜(非常勤講師)	看護部(認定看護師)	精神疾患をもつ人へのケアプランの実際を理解できる。	精神疾患、ケアプラン、看護の展開
13	12/25(水)	3	地域・精神看護学実習室(1)	プロセスレコードの活用	安部 由紀 吉岡 伸一	地域・精神看護学	プロセスレコードの活用を理解できる。	プロセスレコードの活用、関係性のアセスメント、自己理解、患者理解
14	1/8(水)	3	112	精神疾患を持つ人への看護の展開とかわり(コミュニケーションと生活)	吉岡 伸一	地域・精神看護学	精神疾患を持つ人の事例について、特に対人関係におけるアセスメントが理解できる。	精神看護における看護過程の展開、対人関係と生活、情報整理、情報の解釈、情報の持つ意味、情報の分析、事例紹介
15	1/22(水)	3	112	医療現場におけるメンタルヘルス	吉岡 伸一	地域・精神看護学	医療現場におけるメンタルヘルスの対策と危機管理、コンサルテーションについて理解できる。	精神科リエゾン、精神科コンサルテーション、バーンアウト、危機管理、自殺予防、行動制限

教育グランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 3

評価: 定期試験80%、提出物等20%(総合的に評価)

実務経験との関連: 現役の医師、看護師や精神看護の業務に携わった経験を持つ教員が、各自の専門分野に関する講義を行う。

教科書: 1. 精神看護学[2] 精神障害をもつ人の看護 第4版(メヂカルフレンド社、岩崎弥生編、2016)

参考書: 1. 精神看護学[1] 精神看護学概論・精神保健 第4版(メヂカルフレンド社、岩崎弥生編集、2015) 2. 精神看護学① 精神看護の基礎 第5版(医学書院、武井麻子他編、2017)

3. 精神看護学② 精神看護の展開 第5版(医学書院、武井麻子編、2017) 4. 精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種とのつながり 改訂第2版(南江堂)

5. 精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア 改訂第2版(南江堂、萱間真美他編、2015) 6. 根拠がわかる精神看護技術、メヂカルフレンド社、山本勝則、藤井博英著編、2008年

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。